



町議会だより Nagayo Town Assembly Newsletter

みんなのギカイ

no. 171

令和元年10月16日発行 長崎県長与町議会

9月
定例会

新たな議会で決算をチェック	2～ 5
12人が問う 一般質問	9～21
議場コンサートのお知らせ	23
議会報告会のお知らせ	24



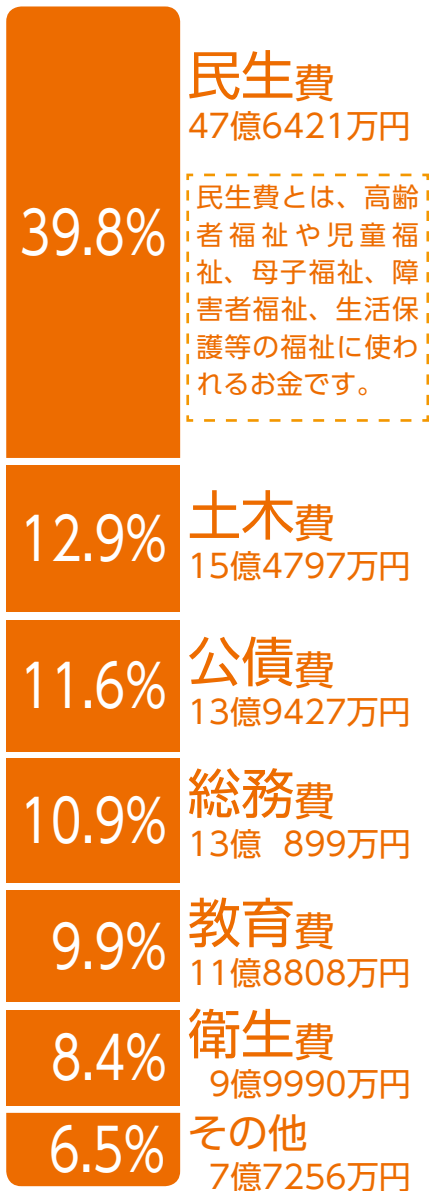
ユメの途中駅

決算をチェック

歳入歳出決算

歳出

119億7599万円
(前年度 123億2341万円)



民生費

47億6421万円

民生費とは、高齢者福祉や児童福祉、母子福祉、障害者福祉、生活保護等の福祉に使われるお金です。

注目事業ピックアップ

健康ポイント事業



360万円

平成30年度から令和2年度まで実施の新事業。健康づくりになる行動にポイントを付与、地域商品券等に交換できます。

要保護・準要保護 就学援助



3508万円

経済的理由で就学困難な小中学生の保護者へ学用品費や給食費の一部、新入学準備金を支給。
対象児童生徒 計497人。

都市計画道路 西高田線 街路整備事業



1億8078万円

高田踏切から長与中央橋までをつなぐ道路のための用地買収・移転補償等。工事進捗は現在47%で令和8年度完成予定。

長与町町制施行50周年記念事業



564万円

町制施行50周年に伴い、平成30年度は主に周知や募集、講演会などを実施。

令和元年第3回定例会を9月3日から20日までの18日間の会期で開き、平成30年度一般会計決算・特別会計決算・令和元年度一般会計補正予算など、町提出の23議案について慎重に審議を行いました。

決算は「すでに使ってしまったお金」ですが、「適法適正だったか」「無駄な施策はなかったか」そして「町が1年間に皆様の税金で住民のために何を達成したのか」などを議会が監視・精査することは、よりよいまちづくりにとって大変重要です。なお、歳入から歳出を引いた差額は基金への繰り入れや令和元年度への繰り越しとなります。

性質別
歳出

扶助費
25%

物件費
14.5%

繰出金
13.8%

人件費
13.2%

投資的
経費
8.4%

その他
(積立金 他)
25.1%

認定
賛成13:反対2

新たな議会で

平成30年度一般会計

歳入

129億4578万円
(前年度130億7710万円)

35.8%

町税

46億3896万円

- ・個人町民税 50.2%
- ・法人町民税 2.8%
- ・固定資産税 33%
- ・都市計画税 6.6%
- ・町たばこ税 5.1%
- ・軽自動車税ほか 2.3%

15.8%

地方交付税

20億4240万円

12.6%

国庫支出金

16億2710万円

7.5%

町債

9億7523万円

7.3%

県支出金

9億4065万円

21.0%

その他

27億2144万円



ふるさと長与応援寄附金



(平成29年度は9503万円)

1億9875万円



町税収納率



(平成29年度は97.27%)

97.77%



資源売払収入



(平成29年度は764万円)

609万円

答

干物など新たに増やした返礼品が人気で急激に伸びた。

問

ふるさと長与応援寄附金の増収の要因は何か。

答

ライフプランの見直しにより納税可能になった人や、生活困窮で生活保護に移行した人などの成果が出ている。

問

滞納者のためのファイナンシャルプランニング事業の成果は。

主な質疑

答

まなび野の「あじさい公園」など計3カ所あるが、今年度中には完了する予定である。

問

町内の多数の公園で遊具を長期封鎖し改修を行っていたが、終わっていない公園もあるのか。

答

従来の蛍光灯の約2分の1になる。今年度で町内の全防犯灯のLED化が完了する予定である。

問

町内の防犯灯のLED化が進んでいるが、電気代の削減効果はどの程度あるのか。

答

出生数が平成29年までは1年で400人を超えていたが、平成30年は349人だった。

問

こども政策課の不用額が目立つ事業は児童減少の結果のようだが、どのくらい減っているのか。

答

本町は長崎バス利用者が多いため、すでにエヌタスTカード3千円分に変更している。

問

免許返納者へスマートカード3千円分を贈呈しているが、スマートカード廃止後の予定は。

反対討論

大型事業が福祉を圧迫

土地区画整理や街路事業などの大型事業が財政の大きな枷となり、敬老祝い金削減など住民福祉の後退が見られる。経済振興も商業の衰退など成果が出ていない。このような大型事業推進の決算は承認できない。(河野)

賛成討論

現場の努力が結果に

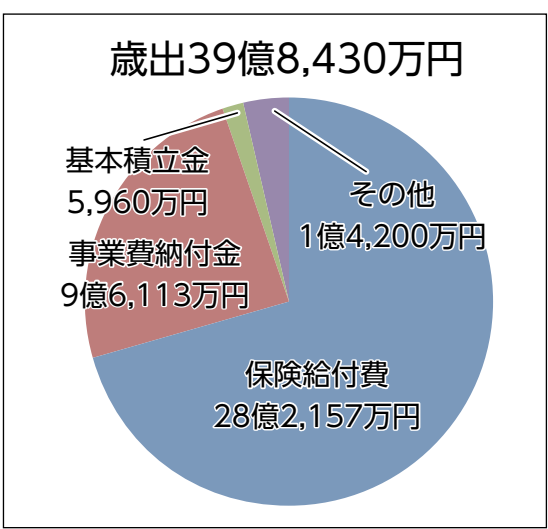
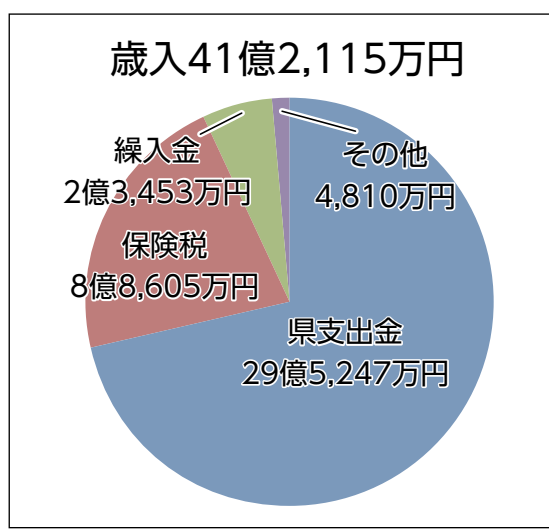
パソコン一括購入などによる現場レベルでの経費削減や納税推進の成果が出ている。経常収支比率の改善など課題もあるが、保育士確保のために賃金をアップするなど町民の生活の必要に応じた的確な業務遂行である。(八木)

認定
賛成13:反対2

県へ運営移行した後 安定化へ

平成30年度 国民健康保険特別会計決算

国保世帯数 4972世帯 被保険者数 8285人



賛成討論
適正に行われている
公平性の観点から、収納の努力が望まれている。決算は適正に行われているため認定すべきと判断する。
(岩永)

反対討論
法定外繰入をするべき
国保世帯の負担は限界に達している。法定外の繰り入れなど財政支援を図るべきである。
(堤)

問
(歳入に含まれる) 第三者納付金の内容は何か。
答
交通事故加害者側の負担金である。30年度は9件で、合計約1300万円の賠償額があった。

問
被保険者数減少の要因は何か。
答
国民健康保険の対象者は74歳までであり、人口が減少しているためである。

主な質疑
被保険者数減少の要因は何か。
国民健康保険の対象者は74歳までであり、人口が減少しているためである。

後期高齢者医療適正か

平成30年度 後期高齢者医療特別会計決算

認定
賛成13:反対2

歳入 4億9313万円
歳出 4億9073万円 被保険者数 5015人

賛成討論
年金生活者支給給付制度を開始
今後も国や県の動向を注視し、高齢者が必要な医療を安心して受ける機会を確保できるように、保険制度の安定化に期待する。
(安部)

反対討論
高齢者隔離政策では
国民を年齢で区分けし世代間の分断、対立を煽るような制度で容認できない。
(堤)

年々増える介護保険

平成30年度 介護保険特別会計決算

認定
全会一致

歳入 30億4616万円
歳出 26億3355万円 認定者数 1811人

問
介護保険専門員の報酬不用額が約200万円だが、理由は何か。
答
介護専門員2名配置予定が作業療法士1名雇用となり減額となった。

問
高齢者の虐待は把握しているのか。
答
調査は2件あったが、虐待件数は1件である。

進んでいる？ 進んでいない？ 高田南の宅地造成

認定
賛成13: 反対2

平成 30 年度 土地区画整理事業特別会計決算

歳入 9 億 871 万円

歳出 9 億 447 万円

年度末工事進捗率（工事ベース）
道路整備 54・1％
宅地造成 56・9％

主な質疑

問
宅地造成の進捗率が29年度と変わっていない。実際には工事は進んでいると思うがなぜか。

答
現場の工事は進んでいるが、実際に宅地として地権者に返した面積を積み上げるため反映していない。



工事が続く高田南

反対討論

不安が解消されない

長年、計画を続けることに警鐘を鳴らしてきたが、顧みる事がなかった。ようやく一括発注へと計画を変更したが、安定した国の補助の交付や、想定外の岩盤などによる工期に対する不安など、不安が解消されるには至らないことを考えると、賛成できない。
(堤)

賛成討論

大変な進歩だ

事業の認可から34年が過ぎようとしている。地権者の苦しみは量りようもない。工事期間5年を目標に民間活力を活用した一括発注の推進は、大変な進歩と考える。
(松林)

全会一致認定

上下水道の安定したサービスの供給と経営を維持

平成30年度水道事業会計決算

収益的収入 8 億 2 79 万円
収益的支出 6 億 9 69 1 万円
資本的収入 2 億 3 7 1 2 万円
資本的支出 5 億 8 1 2 9 万円

問
30年度純利益の減少の要因は。

答
営業費用の増加と、節水型家電等の普及による減収である。

問
有収率の考え方についてはどうか。

答
90%を維持しておきたい。作った水が無駄にしないよう、漏水調査にも力を入れているが、高度経済成長期に埋設した配水管からの漏水が若干あり、修理をしていく。

問
水道事業の長崎市、時津町との連携、協議は。

答
すでに1市2町の協議会を作っており、運営上の課題や、県からの方針を広域で協議している。

平成30年度下水道事業会計決算

収益的収入 10 億 2 86 3 万円
収益的支出 9 億 2 0 4 4 万円
資本的収入 1 億 3 3 6 0 万円
資本的支出 2 億 9 1 5 4 万円

問
企業債は金利の安いものに借り換えているのか。

答
借り換えていない。過去は金利が高いものもあったが、順次古いものから償還が終わり、現在借りているものは低金利である。



耐用年数を過ぎた設備を更新（長与浄化センター）

用語解説

収益的収支…主に維持管理の関係
資本的収支…主に設備投資の関係

収入＝使用料、負担金
収入＝補助金、借入金

支出＝維持管理費、人件費
支出＝事業費、償還金

幼児教育・保育無償化 子育て全力投球!!

全会一致
可決

令和元年度 長与町一般会計補正予算 (第2号)



長与町立高田保育所

元年度一般会計に1億3010万2千円を追加し、総額129億4687万4千円となりました。

幼保無償化

3974万円

子育て世代の負担を減らすことで多くの子どもが質の高い教育を受けられることなどを目的に、10月から始まりです。

校舎整備工事費

3900万円

洗切小学校校舎屋上の防水工事を実施します。

長与町ふれあいセンター

修繕費 69万円

勤労青少年ホーム

改修工事費

1980万円

今回は、施設老朽化による学校や公民館等の雨漏り、外壁の修繕などが目立つ内容となりました。今後も長与町公共施設等総合管理計画に基づき、「適切な維持管理・修復」によるコストの削減、平準化に努めることが求められます。

全会一致
可決

全会一致
認定

令和元年度
駐車場事業
特別会計補正予算
総額 194万円追加
969万3千円



嬉里駐車場の出入り口

問 無人化にしてはどうか。
答 管理人雇用もあり、同計画の中で検討したい。

問 公共施設管理計画などの改修時に検討したい。

問 嬉里駐車場の現在の出入り口は不便ではないか。
答 嬉里駐車場の現在の出入り口は不便ではないか。

歳入 995万円
歳出 801万円

平成30年度
駐車場事業
特別会計決算

ご活躍を期待します

以下の人事が提案され、すべて全会一致で同意・適任としました。

教育委員会教育長

勝本 真二氏（高田郷）

教育委員会委員

山本 淳氏（高田郷）

人権擁護委員

佐野 浩子氏（嬉里郷）

全会一致可決
子ども医療費助成
小中学生も役場への申請不要に

福祉医療費の支給に関する条例改正を、全会一致で可決しました。

小中学生も病気などで医療機関にかかった場合、助成後の金額を病院の窓口で支払う方式となります（調剤薬局での支払いは必要ありません）。

・実施は令和2年4月1日からです。
（詳細は広報ながよをご覧ください）

全会一致可決

高田越トンネル上部に公園

（仮称）道ノ尾中央公園新設工事契約を締結

道ノ尾中央公園を新設するための工事請負契約議案が出され、原案通り可決しました。

契約金額 9116万8千円
契約の相手方 株式会社 ウエノ
面積 約3700平方メートル
工事期間 令和2年3月13日まで
契約の方法 16社の指名競争入札



新しい地域交流の拠点に

報告
学校のエアコン設置完了
〈町内小中学校の普通教室〉

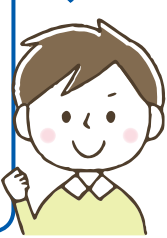
学校の熱中症対策、環境改善のため議会からエアコン設置を求める意見が多く出され、町は昨年度、エアコン設置予算を緊急上程しました。

このほど普通教室、給食調理場の空調設備工事が完了しました。



エアコンを設置して頂いたおかげで、昨年までとは比べものにならないほど学習に集中できるようになりました。特に受験生である3年生にとって学校での授業はとても大切となるので、整った環境の中で勉強ができることが本当にありがたいです。

（長与中 3年）



前は外から帰ってきたら、友だちとせんぷうきの前のとり合いになっていたけど、教室全体がずいぶんいいので、気持ちいいです。勉強もたくさんがんばります。でも、夏休みが短くならないかなと思います。

（長与南小 2年）

令和元年第3回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	八木亮三	松林敏	西田健	浦川圭一	中村美穂	安部都	内村博法	安藤克彦	金子恵	岩永政則	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	西岡克之	山口憲一郎	
執行機関	長与町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町国民健康保険財政調整基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町介護給付費等準備基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町特定教育・保育施設の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	道ノ尾中央公園新設工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※
	平成30年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	人権擁護委員の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

(○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 -欠席)

※ 議長は採決に加わらないため「※」で表示

■ 棄権とは、議員自らの意思により表決に参加しないこと。

◆ 除斥とは、議員は直接の利害関係のある事件について、その議事に参与することができないこと。(地方自治法第117条)

一般質問

12人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の様様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

10	吉岡清彦議員	① 幸福度日本一に向けての職員力あるいは人間力について ② 公園の有効利用について ③ 長与町公民館の1階フロアを板張りにせよ について
11	八木亮三議員	① 公立学校の学校公開週間におけるセキュリティについて ② 住環境改善のための野良猫対策の本町の方針について
12	内村博法議員	① 役場職員の働き方改革について ② 学校職員の働き方改革について
13	安部都議員	① 子どもの食の安全性と町の農業環境対策について ② 高齢者等の健康と安心できるまちづくりについて
14	金子恵議員	① 持続可能な協働の在り方について ② 次期町長選への出馬について
15	西岡克之議員	① 本町の福祉政策について ② 本町の産業振興について
16	堤理志議員	① 歯・口腔機能の維持向上について ② 学童保育・放課後児童クラブの職員配置基準の一部緩和の対応について ③ 小・中学生の電子機器（スマートフォン・タブレット端末など）の利用と対応について
17	浦川圭一議員	① 長与町公共施設等総合管理計画で示された整備方針の達成状況について ② 本町の人口動態について
18	松林敏議員	① 本町の人口減少対策について ② 雑草対策について
19	河野龍二議員	① 災害時の課題について ② 中尾城公園スパイラルスライダーについて
20	安藤克彦議員	① 新図書館の建設について ② 長与町奨学生及び奨学金返還助成制度について
21	中村美穂議員	① 健康づくりの推進について



スパイルスライダーの今後は

回答 令和3年度に再開へむけて



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



長与町のシンボルとなるか スパイルスライダー

■ 議員 中尾城公園のスパイルスライダーの今後の計画はどうか。

■ 町長 使用中止後から現地調査や工法検討などを行っていた。今回、再開への目的が立ち、財源においても国の補助金である「社会資本整備総合交付金」を活用し、令和2年度に詳細な調査設計を行い、3年度に改修工事ができるよう県とも協議を進めている。

■ 議員 管理費、運営費はどのような計画か。思い切った撤去する決断も必要と思うがどうか。

■ 町長 施設規模・内容共に大規模な変更はなく、使用

中止以前と同等になると考えている。また、今後の調査において安全に再開することが難しくなったとしても、エプロブリッジと共に中尾城公園のシンボル、そして町のランドマークとして活用していきたい。

ボルダリングを

■ 議員 今注目されているスポーツクライミング（ボルダリング）施設を町内に設置して、若者を呼び込む考えはないか。

■ 町長 施設の設置については新たな設置費用のみならず、落下防止などの安全対策に伴う職員の配置や安全装置の設置および管理、落下などに対するリスクを考えると、施設の設置は難しい。

職員の人間力向上にむけて指導は

■ 議員 職員を採用するときの基準は何か。

■ 町長 地方公務員法において、採用試験を実施する職に係る標準的職務遂行能力および当該職について適正を有するかどうかを判定することが規定されている。1次試験の筆記試験をもって能力および適正を有することを判定している。2次・3次試験の面接試験では、人物を重視し、協調性、積極性、表現力など総合的に判定を行い、将来本町にとって有用となり活躍が期待される人材を厳格に選考している。

人間力アップを

■ 議員 採用後の職員の能力あるいは人間力を高めるために町長はどのような指導を行っているのか。

■ 町長 新任研修、階層別研修などの各種研修に取り組んでいる。また、日々の業務以外に町民とのコミュニケーションを図る中で、町民目線で物事を考え、課題の発見や解決を実践できるよう指導している。

寄附について

■ 議員 善意の寄附行為に對しどのような基準で対応しているか。

■ 町長 町部局の統一的な手続で事務を行っている。今後も寄附者の意向に基づき敬意をもって対応していく。

長与町公民館1階を板張りにせよ

■ 議員 長与町公民館の1階フロアを板張りにして、老若男女の楽しみや健康づくりの場としていく考えはないか。

■ 教育長 変更する予定はない。



暖かい感じの板張りがほしい 長与町公民館

防犯態勢不備での学校公開は危険



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



やぎ 亮三 議員

回答 防犯は強化するが公開は続ける



自由に来校者証をとれる無人の受付

■ **議員** 5〜7月に県内の公立小中高全校で実施された学校公開週間中に町内の小学校3校を訪れたが、いずれの学校もノーチェックで校舎内に入る事ができ、児童と接触できる状態であった。十分な防犯態勢をとることなく学校公開を行う理由は何か。

■ **教育長** 学校公開は県教育委員会の通知に基づいて実施している。

■ **議員** 教職員は不審者対策研修を受けていると聞くが、多忙な教職員に不審者対応の責任まで課すのは不合理である。今後は学校公開時の

防犯対策を強化・変更すべきではないか。

■ **教育長** 教職員は学校保健安全法で児童生徒の安全を守る事が義務付けられている。教職員による対策は継続するが、学校公開時の危機管理はさらに強化したい。

■ **議員** このような不十分な防犯態勢の結果、もしも不審者が侵入し児童が犠牲になる事件が起きたとしたら、その責任の所在はどこか。

■ **教育委員会理事** 県の通知に従い学校公開を行うと決定した町教育委員会にあると考える。

■ **議員** 平成12年に文科省から児童生徒の安全確保についての通知文書が出ているが、現状はその内容を十分に満たしていると考えているか。

■ **理事** 警察とも通年で連携している。防犯面に不安があるという指摘は受け入れ、今後強化していこうと思うが、地域で子どもを見守るためにも学校が開かれたもので

あることは堅持したい。

■ **議員** 学校公開週間後に防犯面への危惧を町教委に伝えたが、直後の町教委定例会において報告・共有が一切なされなかったのはなぜか。

■ **理事** 学校へ指導する内容であると考え、委員とは共有しなかった。

問 地域猫活動の積極的支援・導入を

答 推進の主体である県と協議したい

■ **議員** 殺処分することなく野良猫を減らす地域猫活動が全国的に広まっており、本町でも一部住民が自主的にやっているが、行政が積極的に支援すべきではないか。

■ **町長** 地域猫活動は周辺住民への周知と理解を得ることが重要であるため、啓発の強化に取り組みたい。

■ **議員** 町が行っている猫の不妊・去勢手術費助成の成果を野良猫の増減数で正確に把握する意味でも、地域猫活動が有効と考えるがどうか。



片耳カットは手術済の証。仲良くしてね

■ **住民福祉部理事** 頭数の把握までは困難と思うが、地域猫活動の浸透は殺処分減につながるとは思う。

■ **議員** 6月議会の同僚議員の質問への答弁で地域猫活動への補助金も検討するとあったが、その後どうなったのか。

■ **理事** 他自治体の事例や実態を検証している。今後さらに地域猫活動推進の主体である県とも協議をしていきたい。



学校職員の長時間勤務の是正を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 適正な勤務時間を設定する

■ 議員 学校職員の長時間勤務の是正を図るためにどのような業務改善に取り組んでいるか。

■ 教育長 適正な勤務時間の設定に向けて、原則として学校の解錠は7時以前には行わないことと、施錠は19時以前に行うことを指導している。また、教職員が確実に休日を確認できるように、今年度は、夏季休業期間の8月10日から15日の6日間に学校閉庁日を設定し、この間の学校管理業務は町教育委員会で行なった。さらに、部活動に従事するために超過勤務時間が多くなっている中学校教職員への対応として、町部活動方針を平成30年12月に策定し、部活動日数や時間の制限を掛けることにした。

■ 議員 平成30年度における教員の時間外勤務についての小学校、中学校ごとの実績状況はどうなっているのか。
■ 教育長 月80時間以上100時間未満は小学校24人、中学校178人である。

また月100時間以上は、小学校7人、中学校51人である。

※ 給食費の公会計化

■ 議員 給食費の徴収業務・管理業務について、文部科学省は、学校や教員の負担を減らすため公会計化を各自治体に要請しているが、対応はどうなのか。

■ 教育長 今後、文部科学省の学校給食費公会計化ガイドラインに沿って公会計化に向けた準備を始め、システムの構築や人員の確保、条例規則の整備などの課題に取り組み、体制を整えていきたい。

問 職員定数を見直す考えはないか

答 必要に応じて検討していきたい

■ 議員 役場の働き方改革はどのように取り組んでいるのか。

■ 町長 役場職員の過度な長時間労働を是正するために、従前からノー残業デーの設定に加え、本年4月より、

働き方改革

～一億総活躍社会の実現に向けて～

働く方々がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現する働き方改革を総合的に推進するため、長時間労働の是正、多様な柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保等のための措置を講じます。

働き方改革全体の推進

ポイント I

労働時間法制の見直し

働き過ぎを防ぐことで、働く方々の健康を守り、多様な「ワーク・ライフ・バランス」を実現できるようにします。

ポイント II

雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

同一企業内における正社員と非正規社員の間にある不合理な待遇の差をなくし、どのような雇用形態を選択しても「納得」できるようにします。



働き方改革の推進を

時間外労働時間の上限を定め、さらなる時間外労働の縮減に取り組んでいる。

■ 議員 長与町職員定数条例では職員定数は240人となっているが、これを見直す考えはないか。

■ 町長 定員適正化計画に基づき、採用を行っており、定員240人に対し、本年4月1日現在の職員数は232人である。定数に達するまでは、まだ余裕があるので、今後、新規事業の開始や時間外勤務の実績、休暇の取得状況

などを総合的に勘案し、必要に応じて検討していきたい。

■ 議員 臨時職員、嘱託職員は、新たな制度として創設されている会計年度任用職員に移行し、来年4月から実施されることで聞いているが、本町の対応はどうなのか。

■ 町長 関係条例を、12月定例会で上程する予定である。

※ 給食費の公会計化

学校独自の会計で管理するのではなく、町の予算に計上して管理すること。



あへ べ 都 議員

子どもにオーガニック給食提供を

回答 現段階では考えていない



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



健康にやさしいオーガニックの野菜が沢山！

■ 議員 主要農産物種子法が廃止される中、発がん性が高い遺伝子組み換え食品が日本にどんどん輸入されている。また、農薬被害もクローズアップされ社会問題となっているが町の見解を聞く。

■ 町長 農薬の使用については、農薬取締法で定められており、使用者が順守すべき使用基準等を規定している。

■ 議員 農業者への農薬の安全性についてはどのように周知を図り、農家の環境安全

対策を行っているのか。

■ 町長 住民向け野菜栽培講習会にて、チラシ配布や農協購買店に貼るなど広く農薬について周知を行っている。県で毎年、農繁期を迎える3カ月間に実施する農薬およびその取り扱いや正しい知識の普及啓発や農薬危害防止運動への連携を行っている。今後県、農協、近隣市町と連携し、安全な農作物の生産のため、適切な農薬使用を周知していく。

■ 議員 日本は、世界一の遺伝子組み換え食品輸入大国と言われている。小麦の50%がアメリカから輸入され、大手メーカーに振り分けられる。日本の学校給食に使用されているパンから農薬に含まれる発がん性の高い「グリホサート」が検出されたが承認しているのか。

■ 教育委員会理事 全ての食品に知識を持ち合わせていない。現段階では、本町の給食は遺伝子組み換え食品を使っていない。今後とも注意し

ていく。

■ 議員 韓国のチョジュン市のオルゴク小学校では、オーガニック学校給食を無償で提供している。また、千葉県のいすみ市では、学校給食に全て有機米を提供し子どもの食の安全と健康を考えているが、本町でもオーガニックの給食を提供する考えはないのか。

■ 理事 安価で安全な給食を提供している。オーガニック食材は価格が高く、現段階では使用は考えていない。

問 フレイル対策と周知は

答 認識度が低いのが現状

■ 議員 健康を保持することは、口の中の健康を維持することが一番だ。「オーラルフレイル」から「全身フレイル」にならないため、本町の口腔ケアの対策と周知はどのように行っているのか。

■ 町長 フレイル予防として特定した事業は行っていない。

※フレイル
加齢により活力が低下すること。



高齢者のフレイルチェック！
食べる機能を鍛えていたよ！大事だね！（新宿区にて）

い。現在、歯周疾患の節目検診などを実施している。フレイル対策については、まだ町民の認識度が低いのが現状である。今後、県や広域連合と連携しフレイル対策の内容を取り入れ普及啓発を図っていく。いきいきサロンや介護予防ボランティア活動への参加促進にも一層力を入れて事業の実施に取り組んでいきたい。



かね 恵 議員

さまざまな協議会のスリム化を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 所管ごとに目的がある

■ 議員 伝統的に培われてきた支え合いや助け合いの関係が希薄化し、自治会などの維持や運営、担い手の確保が課題となっている。本町における住民参加の課題は何か。

■ 町長 価値観や生活様式が多様化で、自治会に加入する人の減少が問題であり、地域の多様な担い手となるべき人材の確保と魅力あるまちづくりの啓発、発信が必要と考える。

■ 議員 協働の体制を推進するため、住民の理解が得られる取組が必要と感ずるがどうか。

■ 町長 自治会を通し理解は得られていると考える。各自治会長には地域内での相談



みんなで考えることが必要！
協働のまちづくり

や取りまとめ、行政の各種依頼に協力してもらい感謝している。

■ 議員 自治会長の仕事は多忙であり、さまざまな協議会や会合もある。目的別の協議会の設置など一定の理解はするが、整理しスリム化を図ることができているのではないか。

「ムダ・ムラ・ムリ」を改善し一元化することで浮いた税金を人材育成・採用、福利厚生などに役立てた方が生きたお金の使い道と思うがどうか。

■ 地域安全課長 行政には所管ごとに目的があり、法の中で国・県・町で協議会を設置するとなっている。そのた

め作らざるを得ない。

問 次期選挙出馬を早期に表明せよ

答 進退については早めに表明する

■ 議員 現在進めているまちづくりにおける問題、今後の課題は何か。

■ 町長 社会保障関連経費の増加に伴い、経常的な経費が大幅に増えている。歳出全般にわたる無駄を徹底的に排除し、持続可能な財政運営の堅持に努める。

■ 議員 所信表明に挙げた図書館建設は土地を先行取得し、長与町サイズのものを検討するとしていた。高田南土地区画整理事業を優先したことで遅れているが、この二つの事業は土木、教育と補助金の種類が違う。今からでも並行して進めるべきと思うがどうか。

■ 企画財政部長 高田南の全体事業費、年間事業費が今年度明らかになる。これにより、財政計画を見直し、計画に沿って進める。これで体制



将来のビジョンを見据えた行政運営を

整備が令和4年度になるのではないかと考えている。

■ 議員 住民の関心事である図書館建設などは、積み残しになる。次期出馬を早期に表明し3期目への意気込みや考えを訴えるべきである。首長は政治家である。住民の生命と財産を守る責任者であり、その進退は重要である。政治家という立場での次期選挙をどう考えているか。

■ 町長 自分自身は政治家という認識を持っている。そのような気持ちで今後のことも、また、進退についても早めに表明したいと思っている。



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

幼児教育無償化対応は

回答 法にのっとり対応する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

- 議員 本年10月実施の税制改革で、幼児教育・保育の無償化が始まるが、どこまで無償化対応か。
- 町長 3歳児から5歳児まで所得に関係なく無償化対応で0歳児から2歳児クラスは住民税非課税世帯の子どもたちが利用料無償化対象である。
- 議員 認可外保育施設に通園している子どもたちはどうか。
- 町長 法律に基づき関係機関に届出を提出し、さらに市町村へ確認申請を提出後、認められると無償化対応になる。
- 議員 無償化対応に含まれない主なものは何か。
- 町長 日用品、教材費、送迎バス代、制服代、行事への参加費などの諸経費である。
- 議員 給食費は実費徴収か。
- 町長 主食費と、副食費に分けられる。10月以降は、保育園などに直接納付となる。3歳児から5歳児までの副食費は、これまで保育料の一部として保護者負担だった

たが、今回の措置で、年収360万円未満相当世帯は副食費が免除される。

■ 議員 無償化措置は主に保育料のみか。

■ 町長 そのとおりである。

問 ブックセカンドのスタートを

答 効果的な手段を検討する

■ 議員 3歳児に対して本を贈呈し、親子の触れ合いや読書習慣の定着を目指すブック

クセカンドという事業がある。本町でも実施してみてもどうか。

■ 教育長 ブックススタートを実施後、児童書の貸し出し数が毎年伸びている。効果も出ていると考えている。ブックセカンドについても子どもに対し有効と考える。今後、読書の習慣化、学習習慣の定着化につながると考える。幼児期からの習慣化の定着に向けてどのような手段が有効か今後研究していく。



はじめてね、ブックセカンド

問 小規模企業振興基本条例の制定を

答 関係団体と協議する

■ 議員 小規模事業者への支援策として国が26年に小規模企業振興基本法を制定した。これを受けて本町でも小規模企業振興基本条例を制定し、町内小規模事業者に切れ目ない支援をしてみてもどうか。

■ 町長 本法律の第2章で、政府は「小規模企業振興計画」を策定し、おおむね5年ごとに変更するとされている。本年6月に第2期の計画が策定された。重点項目として「地方公共団体と支援機関の連携強化」があり、本町の小規模事業者を支援している西そそぎ商工会や、時津町と十分な協議を重ね、検討していく。



町内の小規模事業者へ支援を



つみ さとし 議員

口の健康対策充実を

回答 相談と広報啓発など推進



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



口と体の健康は早めのケアが大事です

■ 議員 口の機能の維持・向上についての対応はどうか。

■ 町長 歯周疾患検診を実施しており、これまで対象であった、40・50・60・70歳に加え、本年度から妊婦と30歳にも対象を拡大した。その他、健康まつり、老人クラブなどでの実技指導などを通し、正しい知識の普及、かかりつけ歯科医を推進している。

■ 議員 成果はどうか。

■ 町長 2016年の調査では、自分の歯が壮年期25本、高齢期20本以上ある人の割合は、壮年期60%で3%の伸び、

高齢期では48%で2%の減少であった。高齢期の歯の喪失本数が増加しているため、健康相談などを強化していきたい。

■ 議員 青年期・壮年期からの啓発が重要と考えるがどうか。

■ 町長 西彼歯科医師会と連携しながら、広報などを通し推進していきたい。

問 問題ないか

学童支援員基準変更

答 安全第一で慎重判断する

■ 議員 学童保育（放課後

児童クラブ）支援員の配置基準が、国の法改正により「従うべき」としていた基準が「参酌する」に変更可能となった。

これに対し、関係者から不安や懸念の声が出されている。児童が少ない場合を想定しているとはいえ、緊急時や突発的な出来事があった際、子どもを安全に守れるのかという現場の声と考える。本町はどう考えているか。

■ 町長 子どもの安全や事業の質が十分に確保されるかを第一に考え、事業の従事者または、保護者などの意見を聞きながら慎重に判断していきたい。

問 どう対応

スマホ持ち込み議論

答 本町の学校は原則持ち込み禁止

■ 議員 文部科学省はスマートフォンなど小・中学校は原則持ち込み禁止としてきた指針を見直す方針を示し、教職員や保護者の意見を聞き、新たな指針を作るとのことである。

学校への持ち込みは肯定的な面もある一方、紛失やスマホ依存など課題や懸念する点もある。こうしたメリット・デメリットを含め、どのように対応していく考えか。

■ 教育長 文部科学省でもメリット・デメリットが出されており、本町としては慎重に判断すべきと考える。現段階では原則として学校への持ち込みを禁止する方針で対応していく。

■ 議員 児童、生徒の電子機器の利用、インターネットの利用状況はどうなっているか。

■ 教育長 携帯電話の所持率は、小学生33%、中学生50%である。所有している携帯電話でインターネットやメールを利用している割合は、小学生70%、中学生88%、またSNSの利用は小学生28%、中学生78%であった。



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

図書館建設予定地の土地利用は

回答 他施設との集約化 複合化も検討



浦川 圭一 議員



広大敷地に図書館単独建設か！他施設併設か！
有効な土地利用を！

■ 議員 図書館建設予定地の土地利用は、他の施設との集約化・複合化も合わせて検討すべきと思うがどうか。

■ 町長 新図書館についても、機能の集約化・複合化の可否について検討する。

■ 議員 将来的に悔いのない土地利用に努めるべきで、図書館の設計前までに他施設との集約化・複合化なども含めた検討を済ませるべきと考えるがどうか。

■ 政策企画課長 設計前ま
では複合化も含めた検討を
行っていく。

問 全国1位の転出超過の
要因は何か

答 進学・就職の
若者転出が要因

■ 議員 転出超過数が全国
町村でワースト1位の結果と
なった要因は何か。

■ 町長 進学・就職により
若者の転出が多いことが要因

と考える。

■ 議員 世帯数が増えて人
口が減っている現状は、各
世帯の人数が減っていると
いうことで、新しく転入し
て住んでもらうとした場合
に、新しい人たちは今ある世
帯には入れない、別途住居が
必要になると思う。現状より
2280人ほど多い目標人口
43899人を達成するため
には、3人家族と想定して計
算すれば、760戸ほど住居
が必要となる。本町において
は、この住居が足りてないの
ではないか。

■ 政策企画課長 住居につ
いては少ないとは思っていな
い。

■ 議員 北陽台団地や池山
の区画整理などを見ても、宅
地ができればすぐに住宅が張
り付く状況にあり、需要に供
給が追いついてないのではと
考える。まち・ひと・しごと
創生総合戦略の中には、まち
づくりの項目は示されていな
いが、盛り込んで力を入れて
いくべきではないのか。

■ 課長 国が示している方
向性としては、現在取り組ん
でいる方針を継続していくと
なっているので難しい。

■ 議員 人口減少対策とし
て取り組んでいるにもかかわらず、人口減少数全国1位と
いう結果となっていることか
ら、適切な取組となっている
か、評価をすべきと考えてい
るがどうか。

■ 課長 社会動態の人口減
少については成果が出ていな
いが、子育てや安全安心のま
ちづくりなどについては成果
が出ている。人口問題は、今
後移住に力を入れていく。

■ 議員 本町では長崎市、
時津町との行き来が多い。そ
れは移住と言わないのか。都
市圏に住む人に向かって移住
を呼びかけるより、まずは近
隣の人に本町に住んでもらう
よう力を入れていくべきと
思っている。移住の考え方は
どうか。

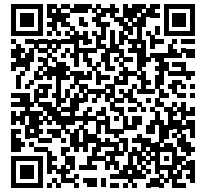
■ 課長 町、県の考え方は
県外からの移住を想定してい
る。



まつばやし 松林 議員

人口減少の対策はどうか

回答 第一子から手厚いサポートが大切



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

- 議員 本町の人口減少が全国の町村で、1位であった。本町の出生率（合計特殊出生率）は、全国平均と比べてどうか。
- 町長 29年度のデータで全国平均が1・43で、本町は1・81となっている。
- 議員 本町の出生率は非常に高い状況にある。女性の50歳時未婚率はどうか。
- 政策企画課長 平成27年度のデータで全国平均が14・06%、本町は10・57%である。
- 議員 未婚率は非常に低い。出生率をさらに上げるためには、3人目以降の子どもに対する児童手当の増額や、出生祝い金の大幅増額などの支援が有効と考えるがどうか。
- ことも政策課長 1人目からサービスを手厚く行い、子育ての負担を軽減することが、結果的に出生率を高めると考える。3人目以降からの新たなサービスは考えていない。
- 議員 人口減少の大きな

- 要因として、就職時の県外への転出があると思うがどうか。
 - 町長 就職情報など、学生にとって有益な情報発信が効果的と考える。
 - 議員 地域おこし協力隊の取組はどうか。
 - 町長 これまで活用の実績はないが、検討する。
- 問** 雑草対策 除草作業の取組は

答 随時必要に応じて除草作業を行う
- 議員 雑草対策として、固まる土や防草シートなどを活用して、雑草を予防する取組はどうか。
 - 土木管理課長 すでに数カ所施工している。場所に応じて適宜判断し施工していく。
 - 議員 河川に生えている雑草の除草のタイミングはどうか。
 - 課長 水の流れを阻害する場合などで、優先度の高い箇所から作業を行っている。
 - 議員 火災時の水利とし



消防水利への活用を望む

- て利用することもあると考えられるが、雑草が茂っている状況では利用できないがどうか。
- 地域安全課長 消火栓・防火水槽ともに基準以上に確保されている。河川の水利は考えていない。
- 議員 高田川沿いが準工業地域で、大規模火災が予想される建物があると考える。防火水槽のように空になる心

- 配もなく、消火栓のように周りの水圧を下げることもない自然水利の確保のために、河川内の除草作業の頻度を上げることはできないか。
- 土木管理課長 河川全体の除草作業の頻度をあげることが不可能だと考える。特定の箇所を、雑草の繁茂と関係なく、消防水利として利用できるように、今後検討していきたい。



かわの たつじ 龍二 議員

防災情報の新たな伝達方法は

回答 調査検討したい



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

- 議員 集中豪雨など自然災害が多数起きているが、住民の危機意識が薄いと思われる。過去、避難勧告が発令された時に避難した人数はどれくらいか。
- 地域安全課長 昨年全住民に対し避難勧告を発令したが、避難したのは30世帯53人であった。
- 議員 自宅にいた方が安全だという所もある。現在のハザードマップを地区ごとに分類し、地域ごとに危険性を明確にしたハザードマップを作成してはどうか。
- 課長 地域ごとのマップは必要と考えている。検討し実施したい。
- 議員 防災情報無線が聞こえない、聞こえにくいなどの相談がある。小型受信機の貸与はできないか。
- 課長 防災情報無線が届かない場合があるなら対応を考えたい。
- 議員 新たな情報伝達方法として、スマートフォンを活用している自治体がある。

- 議員 本町も取り入れてはどうか。
 - 課長 調査検討したい。
- ペットと避難を
-
- ペットと一緒に避難できる場所を
- 議員 ペットがいることで避難できない状況があつてはならない。ペットと同行できる避難所の開設の考えはどうか。
 - 住民福祉部理事 検討したい。
 - 議員 小規模の災害、火災で家屋が倒壊した場合の見舞金制度を創設してはどうか。
 - 町長 町の要領の中に見舞金制度がある。
 - 議員 ホームページに掲

- 議員 掲載してはどうか。
 - 福祉課長 掲載したい。見舞金の内容改定も検討している。
 - 議員 家屋が倒壊した場合、燃えない廃棄物の処理費用が膨大だと聞いた。住居を失う中での負担は大変だと思うが、対策はないのか。
 - 住民福祉部理事 被災した人の生活状況を判断し、町で引き受ける場合もある。
- 問** スパイラルスライダーは廃止を

答 町のランドマークとして必要
- 議員 中尾城公園にあるスパイラルスライダーの利用再開が検討されているようだが



本当に安全？

- 議員 が、これまでの事故の原因は明確になったのか。
- 土木管理課長 明確ではないが、最終地点のカーブや傾斜が要因と考えている。
- 議員 事故にあつた児童の保護者に、危険な遊具は廃止してほしいと言われた。廃止は考えていないのか。
- 町長 復元には交付金が活用できるので、復元に向けて進めたい。
- 議員 スライダーは撤去し、新しい遊具を整備してはどうか。
- 町長 これまで利用者も多く、復元を期待する声もある。町のランドマークとして残したい。



あんど かつひこ
安藤 克彦 議員

新図書館への一定のめどはいつ

回答 今年度と考えると構わない



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。



基本計画の速やかな履行を

■ 議員 町は新図書館の建設について、高田南土地区画整理事業に「一定のめどがついてから」という姿勢を貫いている。「一定のめど」の時期は明確にいつなのか。

■ 企画財政部長 「一定のめど」とは今年度と考えるもらって構わないと思う。

■ 議員 新図書館建設に向けての検討は、どこがどのような業務を行っているのか。

■ 町長 現段階では財政的

な見通しが定かでなく、具体的な検討に着手する段階ではないが、政策企画課で補助金や有利な起債、官民連携でのコスト縮減の可能性の調査、地元金融機関との意見交換など、情報収集を行ってきた。

■ 議員 基本計画画答申から5年経ち、環境の変化が起こっている。建設用地も確保した。具体的に事業を進めるため検討委員会や準備室の設置をするべきではないか。

■ 町長 基本的理念は変わらないが、用地や連携中枢都市圏の形成など環境の変化がある。基本構想のスケジュールを基本として、できるだけ早い時期に推進体制を整備する。

■ 議員 東京都豊島区では、区役所建替事業を民間資金の活用によって、自己負担ゼロ円で行っていた。新図書館建設についてもこの様な手法が使えるのではないか。

■ 町長 同様の事例も含めて、この手法が本町にも可能かアドバイザーに相談を行っている。その際、収益性の高い施設との複合化や利益の追求は容易ではないこと。また、市場性の有無についての可能性実地調査の実施が望ましいとの意見があった。今後具体的に着手する際は、官民連携の手法についても併せて検討していく必要がある。

■ 議員 現図書館の耐震化についてはどうなっているのか。

■ 生涯学習課長 耐震化に

ついては手をつけていない。

■ 議員 図書以外にどのような物が保管されているのか。また、建物の管理についての問題点は何か。

■ 課長 視聴覚資料や古い民具、農具、遺跡からの出土品がある。現図書館は、築60年を経過しているので、雨漏りや電気設備の古さがある。

問 奨学金の
減免措置導入を

答 財源の問題があり
研究したい

■ 議員 非正規雇用が増加する中、卒業後に決して少ない借金が残ることで人生設計が見えにくいなど、社会問題化している。国も給付型奨学金の拡充に向けて取り組んでいる。町が貸与する奨学金を町内への居住等を条件として、返還免除や一部免除するようにできないか。

■ 教育長 県内でも導入している自治体がある。財源の問題があるので、他市町を参考に研究したい。



特定健診の受診率の現状は

回答 少しずつ向上している



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■ **議員** 特定健診の受診率の現状はどうか。

■ **町長** 29年度が45・0%、30年度は暫定であるが47・6%で少しずつ向上している。

■ **議員** 微増はしているが、目標値の設定が29年度は45%、30年度は49%というのは低いのではないか。60%くらいにすべきではないか。

■ **健康保険課長** 国の目標値は60%であるので、令和5年度までに段階的に上げて60%にしていこう。

■ **議員** 受診率アップの対策で広報がよに特定健診の受診率の推移のデータを掲載してはどうか。

■ **課長** 前向きに取り組んでいきたい。

■ **議員** がん検診の受診勧奨はどのようになっているのか。

■ **町長** 今年度は50歳以上の全員に個別通知を行い、その人が受けられる検診を表記した。

■ **議員** 乳がん、子宮がん

の検診が2年に1回になっていくが、対象者を偶数年齢にするなどわかりやすくできないか。

■ **健康保険課長** 個別での働きかけを行う。

■ **議員** 健康まつりで、血管年齢や骨密度測定は人気があるので、他のイベントで広げることができないのか。

■ **課長** 血管年齢の測定は長大医学部の先生の協力で実施しているためできないが、骨密度の測定は他のイベントでも行う事はできる。

健康ポイント

■ **議員** 健康ポイント事業への住民の参加状況はどうか。

■ **町長** 30年度の参加者が800人、今年度からの参加者が646人で1446人が参加している。

■ **議員** 参加者の歩数の測定会は昨年からのように日程を変更したのか。

■ **健康保険課長** 昨年は月3回だったが、20日以降月末

まで役場で、第3水曜日の夜最後の土曜日の午前中と回数を増やしている。

■ **議員** 参加者の声はどのようなものがあるか。

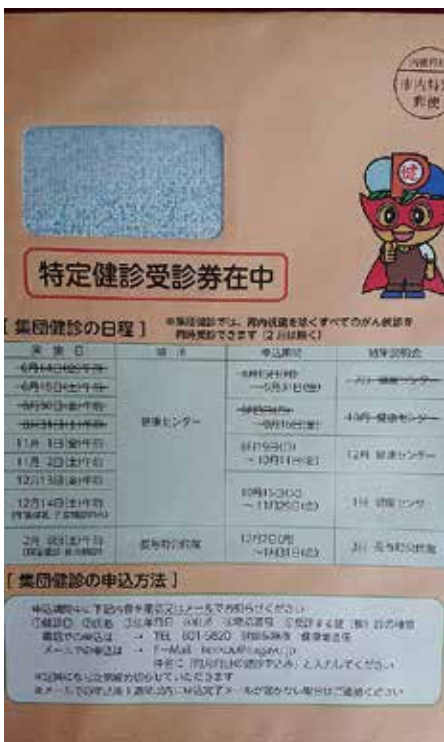
■ **課長** 家族や友人と健康について話すようになったこと、夫婦の会話が増えたなどがある。

口腔ケア

■ **議員** 本町の口腔ケアにはどのような取組があるのか。

■ **町長** 乳幼児期から高齢者まで全ての世代を対象に実施している。町内全ての幼稚園、保育所、小学校ではフッ化物洗口事業、歯周疾患検診をしており、今年度から妊婦、30歳にも対象を拡大している。

■ **議員** 口腔ケアに力を入れるためにも歯科衛生士を職員に採用してはどうか。
■ **総務課長** 専門職が必要になった時に検討する。



この封筒届いていませんか？特定検診、受診しましょう

口腔ケアと健康づくりについて調査

委員長 中村 美穂

○調査期日

7月24日～26日

○調査場所

東京都大田区
千葉県柏市
東京都新宿区

○調査目的

口腔ケアと健康づくり
重症化予防のための取組
介護予防事業としての取組

○調査を終えて

生涯を通じた口腔ケアの取組として妊娠時から高齢期まで切れ目なく行われていた。また、高齢者の摂食嚥下機能指導を歯科医師会の協力を得て特別養護老人ホームで行っていた。
新宿ごつくんプロジェクトとしてごつくんチェック表を使い、むせるとチェックがついた場合は、



専門医に診てもらい改善に繋がっていた。

フレイル（健常から要介護へ移行する中間の段階）予防の取組として市民サポーターの養成や多職種チームの連携も見られた。本町でも積極的な取組が必要である。

議会運営と議会災害対応など調査

委員長 岩永 政則

○調査期日

7月29日～31日

○調査場所

神奈川県秦野市議会
茨城県境町議会
埼玉県富士見市議会

○調査目的

議会災害対応
議会運営委員会の運営

○調査を終えて

秦野市議会では、災害の対象を大規模な災害、震度5以上の地震などに限定していた。また議員の行動マニュアルと議員の初動体制を作成されていたことは大変参考になった。
境町議会での災害対応で特に目を引いたのは、1千人を収容する3階建ての水害避難タワーである。
富士見市議会では、災害対策会



議設置要項を平成26年から施行し、さらに災害対応指針を作成されていたことは参考になった。対象は、大規模な火災・爆発などとしていた。
議会運営では、議会運用基準は作成していない。申し合わせ事項を30年に更新とのこと。
この調査結果をふまえて、今後研究・検討を深めていきたい。

開かれた議会を目指して

長与町議会 50 周年記念議場コンサートのお知らせ

長与町議会50周年を記念し、議場コンサートを開催します。

長与町出身のバイオリニスト中西弾さんをはじめ、長与町にゆかりのある3組の演奏をお楽しみいただけます。入場は無料です。

これまで傍聴などに来られたことのない方も是非お越しください。

※入場には入場券が必要です。

令和元年10月28日(月)午前9時より、長与町役場4階議会事務局(TEL:801-5700)にて入場券の配布を行います。(お一人様2枚まで)



開催日時	会場	出演者
11月16日(土) 13:30 開場 14:00 開演 15:30 終了予定	長与町役場4階議場 席数:69席(全席指定)	中西 弾(バイオリン) オットリーズ(アイリッシュ音楽) Believe(二胡)

読みやすい わかりやすい紙面づくりを追求

モニター会議実施で意見交換

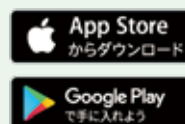
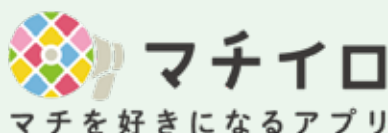
8月20日、議会広報広聴常任委員会は議会広報モニターの皆様と意見交換を行いました。

議会だより170号に寄せられた貴重なご意見を、十分参考にして今後の編集に生かしていきます。



	広報モニター	委員会
表紙 タイトル	<ul style="list-style-type: none"> 「みんな」とつけたことでソフトな印象になったが、「ギカイ」がカタカナになっていることに違和感がある。 写真は明るいパンフレットに思える。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者も手に取りやすいという思いから他自治体の事例を参考に採用した。違和感もあると思うが、今後2年間続け、評価を聞きたい。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 賛否表の文字が小さい。 議員の写真が多い。 委員会の所管を詳しく掲載して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回は、無投票だったことから、議員全員の抱負を載せるなど、例外的な部分も多かった。
配布方法	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に加入していない人にも届ける方法を考えるべきではないか。 大学に置いて、学生にも手に取ってもらうなど、工夫の余地はあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に配布を依頼している立場であり難しい面もあるが、今後、協議していきたい。

議会だよりが行政情報アプリ「マチイロ」で読むことができますようにになりました。



傍聴席から

9月議会の傍聴者は
延べ**73人**でした

皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。
たくさんのご意見ありがとうございました。

私たち町民、市民がより快適に安心して暮らせるよう、多くの方がこうした場で深く考えられ、議論されていると今日知れて良かったです。貴重な経験となりました。また議会の傍聴をしたいと思いました。
(10代 女性)

細かい仕事の内容や町の考えなどは傍聴することで知ることができ、貴重な機会ですね。
(70代 女性)

町民に心を寄せ、苦情に耳を傾け、議会に取り上げ、問題点、不足点を明らかにする本町議員さんたちは、それぞれ個性を生かした姿勢でテーマをとり上げ、頼りがいのある集団と感じた。町長・町幹部と丁々発止のやり合いで共に職責を果たすよう努力してほしい。
(60代 男性)

次の定例会は12月3日(火)開会の予定です。傍聴をお待ちしています。

議員と語ろう会 議会報告会のお知らせ

平成30年度決算の報告と、意見交換会を開催します。
議員と町のことを語り合いませんか？お子様連れでも大歓迎です。多くの方のご参加をお待ちしています。

開催日時	場 所	出 席 議 員
10月25日(金) 18時30分～20時	北部多目的研修集会施設	松林 敏・内村 博法・堤 理志
	長与公民館	八木 亮三・金子 恵・吉岡 清彦
10月26日(土) 14時～15時30分	上長与公民館	西田 健・安藤 克彦・竹中 悟
	南交流センター	中村 美穂・安部 都・河野 龍二
	高田公民館	浦川 圭一・岩永 政則・西岡 克之

※手話通訳が必要な方は、事前に議会事務局に御相談ください。

議長交際費 令和元年7月1日から9月30日までの総額と件数

寸志・慶祝など	55,000円(8件)
香典・生花スタンド等	30,160円(2件)
激励カンパ	10,000円(1件)
視察お土産代	26,178円(2件)
その他(見舞金・負担金など)	2,034円(1件)
支出合計	123,372円(14件)

表紙の写真



長与町内にはJRの駅が4つあります。その内の1つが「^{ほんかわち}本川内駅」です。ピンク色の駅舎がレトロな雰囲気でもとても素敵ですね。

編集後記
統一地方選挙のたびに投票率が過去最低を更新する中、小中学生の時から選挙や社会参画の大切さを教える「主権者教育」が注目されています。「無投票でよかったですね」と言われることもあるんですが、議会・議員が行なうべき業務として、議員が行政を監視するように、議員もまた市民から監視されなければ、気が緩んだり手を抜いたりすることがあります。無投票は誰にとっても決していいことではないんです。選挙の時にはしっかりと投票(または立候補)しても、たまたま立候補しなくても、関心を持ってもらうには、私たちが議会の仕事に興味と関心を持ってもらうように、紙面作りを心掛けてお寄せください。(八木 亮三)

議会広報広聴 常任委員会

委員長	金子 恵
副委員長	堤 理志
委員	八木 亮三
	松林 敏
	西田 健
	安部 都
	安藤 克彦
	吉岡 清彦